

視察報告書 2024.11.25-26 四条畷市電子投票選挙について

町田市議会無所属会派 吉田つとむ 2024.11.29 提出

大阪府四条畷市市長、市議補選の開票予定施設の視察、及びデモ施設の視察の視察報告書

1. 目的

平成 14 年、選挙の投票無効票（及び疑問票）を無くす目的、開票作業の迅速性を図るため、岡山県新見市で最初の電子投票が実施され、有効に機能した。それを含め、全国で合計 10 カ所の自治体で電子投票が実施された。しかし、その過程の岐阜県可児市で実施された電子投票選挙において、投票途中で機械が停止したことで、投票者の中で数百人が投票所から帰ってしまう事態が発生した。選挙の当落結果が出た後、選挙無効の裁判が起こされ、最高裁で選挙の無効が確定し、再選挙が通常の紙の投票用紙で行われ現在に至った。そのことによって、電子投票システム自体に疑問を持つ見解や、主張が多くなり、順調に電子投票が行われていた最後の青森県六戸町も吉田町長の引退で無くなった。私は、それらで全部の自治体の最初の電子投票を視察見学し、さらに、最後の青森県六戸町の電子投票選挙を見てきた。

今回、8 年ぶりに電子投票が大阪府四条畷市で実施されることになり、その事前調査で、上記の施設を視察見学することにした。もとより、12 月 22 日の電子投票選挙自体を日程に合わせ、視察見学する予定である。



参考：電子投票選挙の開票が行われた六戸町 2016.01.17-18 視察時に自分で撮影

参考 2：マイ スライドショー＜電子投票＞青森県六戸町議会議員補欠選挙は順調に終了
2016.01.17 <https://www.youtube.com/watch?v=89R4DJ7jzq0>

この中には、デモ機を操作する吉田つとむの画像も入っている。



2. 視察の趣旨

今回の電子投票選挙では投票にタブレットが用いられるということであるが、旧来の据え置き機とどのように違うのかを見極めることを求めるものである。

電子投票というと、インターネットを介した方法だと思われるが、その方法が今回採用されるはずがないと考えた。インターネットを介した投票では、投票者のなりすまし問題がクリアできず、投票結果の信頼性を担保する方法が確立していないと考えるためである。

3. 視察の内容について

視察日（11月26日）現在、電子投票機が四条畷市に到着しておらず、電子投票機のデモ機も存在せず、その視察がかなわなかった。いつ到着かも明確には明かしてもらえず、日程を繰り上げて、可能な範囲の視察見学を行ったものである。日程も効果的にするため、町田市から大阪への移動は深夜バスを利用し、現地では公共機関と徒歩で移動した。帰途については、新幹線を利用した。結果的に、実質上、1日の日程で視察を終えたことになる。

合わせて、電子投票機による選挙がどのように市民に対して、広報されているかを探った。そのため、できる範囲で電子投票の実施に関して、市民に尋ねてみた。もとより、直接選挙に影響が出ないように、どの候補者の支持かを一切尋ねないように心がけを徹した。



四条畷市庁舎

4. 視察の結果と所感

視察先は、四条畷市立市民総合体育館（サン・アリーナ）と四条畷市市民総合センター（市民ホールが主体の建物、図書館と公民館を含む）、及び、四条畷市本庁舎を見て回った。

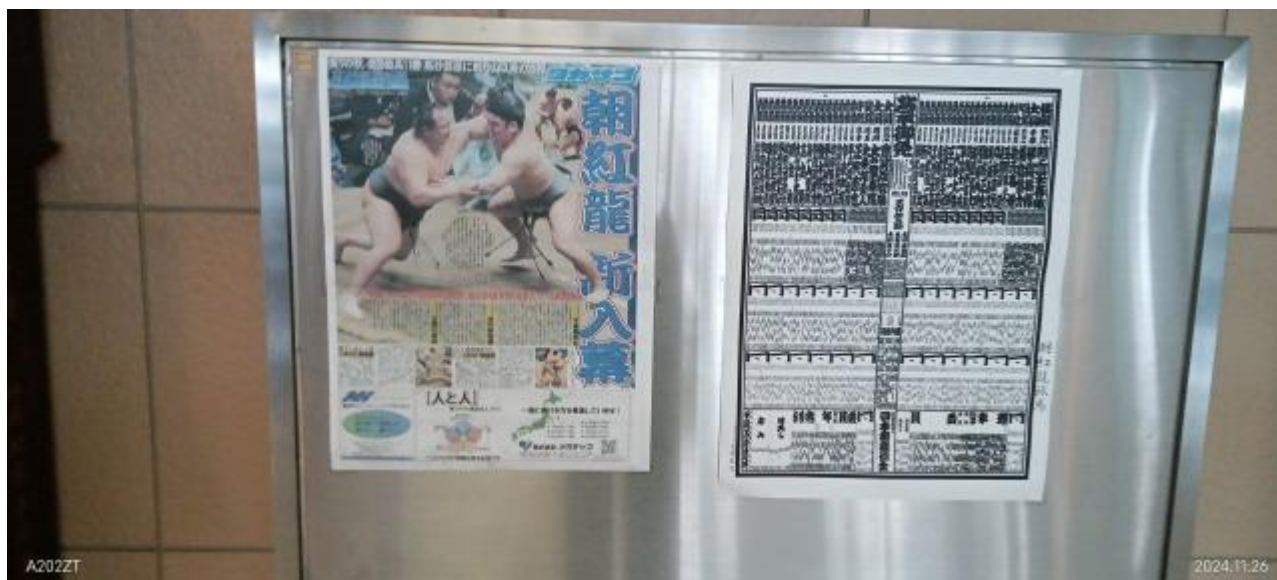
四条畷市立市民総合体育館（サン・アリーナ）は、バレーボールコートで 3 面、バスケットコートでは 2 面のコートフロアーを持ち、かつ、観覧席は周囲にあり、町田市より余裕がありました。





屋内地下には、駐車場とゲートボール場らしきスペースがありました。他に、屋外に相撲場があった。なお、現在、地元力士（）が新入幕を果たし、話題になっている。

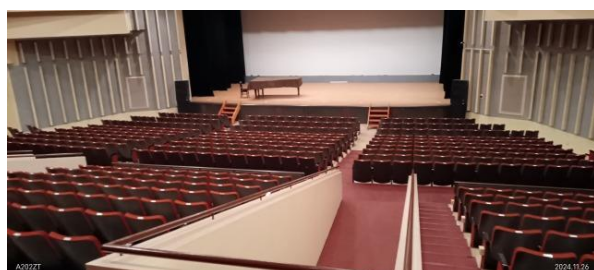




市庁舎には、大きな垂れ幕も掲げられている。

以前から、この四條畷市立市民総合体育館（サン・アリーナ）は選挙の開票所に使用されてきたとのことであった。ちなみに、12月22日は選挙の開票所に用いるため、施設の貸し出し予定は無いことも確認した。

他に、四條畷市市民総合センター（市民ホールが主体の建物、図書館と公民館を含む）を見学した。



電子投票選挙の開票作業では、電磁記録媒体の記録データをパソコンで読み取るだけの作業のため、各投票所の電磁記録媒体（SD カードか、USB メモリーなど）を運び込み、作業台 1 台の上に並べ、その読み込むだけであり、幾人かの開票作業従事者以外に、管理者、立会人などがいれば済むものである。

例えば、今までの電子投票選挙の実施自治体の例では、このホールの舞台上に上記の開票作業

関係者が集まり、開票作業の傍聴は手間の観客席で見る方法が一般的だと考えられる。ただし、この四条畷市市民総合センターの駐車場は70台だということで、傍聴者用の駐車場まで考えると、選挙の開票作業の場所には適しないと考える。

どの会場で電子投票の開票作業を行うであろうか。当局者の判断が楽しみでもある。

期日前投票の会場については、本庁舎が適当かと言えば、とても狭隘な建物であり、その際は見落としたが、おそらく別館が使用されるものであろうが、確認に至っていないことで断定できかねる。


なお、新しく電子投票を実施するということで、選挙の前に、一般の市民の方に対して、投票方法のデモ体験のコーナーができていると思ったが、それがそろっていなということであった。市内のどこにも痕跡もなく、果たして、タブレットを使った電子投票選挙の投票操作がスムーズにいくものか、さらに気になった。

合わせて、広報（電子投票選挙）に関するものが、デモ体験ができる場所も方法も今のところ採用されておらず、現在は、四条畷市の広報で次のように記載されているのみでした。

しほり。

今回の選挙は電子投票 NEW

投票所において、専用の端末で候補者を選んで投票する方法です。
詳しくは、市ホームページを確認してください。

An illustration showing a woman sitting at a desk, pointing at a tablet computer. To her right, a man is shown from the chest up, holding a microphone and speaking. The background is a light gray with a subtle pattern.

四条畷市 広報 2024 年 11 月号 7 ページ（目次の次のページ、トップ記事）

四條畷市長選挙

問合 選挙管理委員会事務局

投票日時

12月22日(日)
7時～20時

告示日 12月15日(日)

期日前投票 12月16日(月)～21日(土)

8時30分～20時

グリーンホール田原は
20日(金)・21日(土)のみ

詳しくは
こちら



投票所入場券 家族分をはがきで送付しますので、自身の分を切り離して投票所へ持参してください。届かない場合や紛失した場合は、投票所でその旨を申し出てください。選挙人名簿を確認の上、投票できます。

期日前投票 選挙当日に予定などがある人は、期日前投票所で期間内に投票できます(上の表参照)。投票所入場券裏面の期日前投票宣誓書を記入し、持参してください。

場所 ●市役所東別館 2階201会議室 ●グリーンホール田原 1階なるなるホール

当日投票所 住んでいる地区ごとに、投票のできる当日投票所が決まっています。後日送付する投票所入場券に、投票のできる当日投票所の場所と地図が記載されています。市内の当日投票所一覧は、選挙公報や市ホームページにも掲載します。

不在者投票 選挙当日に市外に滞在する予定の人、病院・老人ホームに入院・入所している人などのための制度です。詳しくは市ホームページを確認するか、問い合わせてください。

選挙公報 候補者の氏名、経歴、政見などを掲載した選挙公報を各家庭に配布します。12月21日(土)までに届かない場合は問い合わせてください。

開票 12月22日(日)21時15分から行います。開票所および開票速報は市ホームページに掲載します。

今回の選挙は電子投票 **NEW**

投票所において、専用の端末で候補者を選んで投票する方法です。詳しくは、市ホームページを確認してください。



期日前投票所への移動支援を行います **無料**

西部地域 おでかけサポートタクシーを利用し、市役所の期日前投票所と自宅を往復できます。

(事前に会員登録が必要／詳細は9ページに掲載)

田原地域 たわらコネクトカートを利用し、グリーンホール田原の期日前投票所と田原地域内の最寄りの乗降場所を往復できます。詳しくは市ホームページを確認してください。

四條畷市長選挙開票作業のため、市民総合体育館の一部施設の利用を停止します。

日時 12月22日(日)13時～21時30分 **対象施設** ルナ・ホール、トレーニングルーム



連絡先については14ページをご覧ください。

四條畷 LIFE (No.653) 2024年11月号

「詳しくは、市のホームページへ」というものですが、当該記事のリンクもなく、QRコードの

記載もなかった。それだけ、市民に市のホームページが普及していると理解すべきものか、それとも、まだ、電子投票の準備が進んでいないと言うことか、取材者には見えにくいものであった。実際に、電子投票選挙の実施日に現地を訪ねて、自分の目で確かめる以外に無いのではないのか、そのように考え次第である。

以下、改めて、四条畷市のホームページを閲覧してみたの印象について。

四条畷市 HP のトップページを見ても、電子投票選挙の見出しは 1 か所もなく、市長・市議補選の見出しすらない状態になっている。電子投票選挙の知ろうとすると、そのトップページで検索するしかなく、実際の電子投票選挙の投票方法を市民が単純に知ることはほとんど不可能と言えるのではないかと気になっている。





ここから、一般市民が、電子投票選挙の投票方法にはどのように至るのかを考えるのは難しいことであろう。それは単にタブレットを操作したことがあるからと言って、

調査事項の追記

◎ 電子投票選挙の認識度についての調査

市民の声をあちこち出かけて聞いて回った。今回の選挙に電子投票選挙が行われることを知っているかというものであった。

以下は、国内最大級のショッピングモールとなっている、「イオンモール四条畷」の様子を記した。「イオンモール四条畷」は、四条畷市と寝屋川市の市境界にまたがって建設されたもので、それに合わせて、寝屋川店が閉店され、対象世帯が40万戸、人口100万人超としており、駐車場は2000台に及んでいる。





この政治家にとって、この「イオンモール四条畷」の進入路出入り口は演説や挨拶を行う格好の場所となっているものと思われる。ウイークデーパーの利用者数から見て、週末の盛況ぶりが推測される。

もとより、私は、政治活動が目的ではなく、電子投票選挙実施に関する認識度調査をする意図のみで、数時間の聞き取り調査を現地で可能な範囲で行った。

また、四条畷市立市民総合体育館（サン・アリーナ）と四条畷市市民総合センターの周辺においても、聞き取り調査を各々1時間ほど行った。

総じて、100人ほどに聞いたと思いが、電子投票選挙の事は知られていないという例が大半であった。この12月（頃）に市長選挙があることはかなりの人が知っていた。＊約半分近いとい

う判断をしている。ただし、その選挙が電子投票で実施されることを知っている人はまずおらず、電子投票で行われると言うことでは、インターネットで投票することかと判断される事態にしかない状態であった。

そうしたことを考慮すると、選挙の投票がスムーズに行われるか、投票人の戸惑いや、自前のタブレットやスマホを使おうとする人が出てこないか、気になるところである。

市長のスタンスはあくまで開放的である。



四条畷市における電子投票実施に関して、この電子投票の操作扱いの講習、訓練がないままに進展することはないはずであろう。これまでの実施自治体では、相応の時間をとって、あるいはデモ機も使って、有権者の操作訓練を行ってくるものと思われる。

とにかく久しぶりの電子投票選挙あり、有権者がスムーズな対応ができるよう図られ、かつ、宣事務作業の職員が無理なく、選挙の開放作業が順調に進むことを願っている。

なお、バスで移動中に、街の道路沿いで、選挙事務所らしき建物を一カ所のみで発見した。＊左方の車は工事用の車両。ただし、選挙戦にかかわる予定が無いので、その場に行つての確認作業は控えることにした。



追記 2

この視察訪問期間の間に、四条畷市の政治状況に大異変が起きていた。もとより、私がそれを知る由もあるはずが無かったが、総じて対応にぎくしゃくした面が生じることがあった。この間起きていたことは、若手市長が2期で潔く退任を決意し、後継候補を、エン・ジャパンという就職情報サイトの力をかり、市民組織を作って恭しく、後継者を大掛かりで決定したというものであった。さらに、その当事者が選挙戦の準備行為を図るところ、突然の病気で、かつ、それが大病で、出馬断念に至るという経緯であった。

それが、26日にその支援団体を通じて発表され、さらに、25-26日に上京していた市長が四条畷市に戻った後、27日になって記者会見をして、その経緯の詳細が明らかにされ、市長自身のHPにその理由などが掲載されている。ただし、記者会見の質疑応答は掲載されておらず、本人の病気、出馬取りやめと言うことを事実としてそれが起点にそれぞれが動いていくことであろう。

そのことが背景にあって、私の視察が容易には計画できない要素が重なったようだが、取り合えず、当初の予定は果たし、電子投票選挙本番の視察を進めることにした。そうした中でも、幾人もの方から親切に対応していただいたことに大いに感謝している。



25日の24時に町田バスターミナルに集合、そこから深夜の高速バスを使い、大阪梅田へ。そこから大阪環状線、学園都市線を用い、四条畷市内へ。現地の移動は、公共バスと徒歩。

帰途は新幹線とし、26日に町田に戻ってきた。

以上。